

常識が通用しないのが財界だ。コンプライアンスとか正義とかは関係ない。人が何人放射能で死のうが、公害で苦しもうが、カネのある限りはお構いなし。これが今のニッポン国を支配している拝金主義だ。水俣病のような誰が見ても許されない事例を証明しても良識の世界に戻るのに50年かかってなお弱い者は切り捨て状態。正義はカネである。

誰が考えても暴落するはずの東芝株が暴落せず、今回もまた5月頃粉飾決算の報告があって、今回歴代社長の首切り（これトカゲのしっぽだからね）に発展してもなお東芝株は健在なのだ。誰が株価の暴落を防ぐために買い支えたのか。

GPIFなのだ。そういえばこの資金運用団体のマネーゲーム率、あんまり賭博的になってはいけないので、株価運用は全運用資産の12%以内とか枠がつけられていたのだが。この数年のうちにその枠が25%に拡大されていた。僕らが積み立てた年金は、東芝株の株価操作のために使われていたというわけだ。

\*\*\*\*\*

### 『新・土佐日記』登録の勧め

松坂ブログ『新・土佐日記』では島原市の政治問題だけでなく、幅広く話題を取り上げています。しかも島原市民の立場で考えています。全国一律どこでも同じような問題も、島原の現実に即して考えています。

公共工事のおかしなところは諫早湾干拓や石木ダムなどの身近な例から。原発再稼働のデタラメも一番身近な（鹿児島）川内原発の具体的な問題点を指摘しています。

ネット環境がある方はぜひ『新・土佐日記』をお気に入り登録して、検索欄に、気になる言葉を入れてみてください。

# 露骨すぎる ばらまき

■臨時福祉給付金 26年消費税を5%から8%に上げたとき、低所得者からの批判をかわすために市民税非課税者に10000円～15000円をわざわざばらまきました。去年27年度も6000円ずつばらまきました。福祉課の担当は膨大な時間を奪われたのでした。

そして28年度、10%消費税を目前にして、5%→8%の影響などもうない、と、言い張るかと思いきや、28年度も配るといいます。今度は3000円。臨時福祉給付金は秋口で、人口5万の島原市で言えば、市民税非課税の低所得者13200人に対して一人3000円ということ。パート事務郵便代など配布経費も全額国の負担で市の負担はないので、何処の市議会も問題にしようがありません。

3000円配るのに4000円ほどかかるわけで、実に非効率です。

### ■年金生活者等支援臨時福祉給付金

アベノミクスは大成功で働く人たちは恩恵に浴しているが年金生活者には届いていないからという理由で、上記臨時福祉給付金受給者13200人のうち年金受給者（高齢受給者6800人+障害年金受給者850人）には今回28年度だけ3万円を上乗せするという。

しかも究極の驚きは、3万円だけは、夏前に配布せよ！という幕府の要請なのです。現在（6月）福祉課窓口は大混雑しています。6800人分の手続きは二重経費で、秋にまた3千円の案内があります。さらにさらに驚きは、障害者年金の人たちは、慌てなくていいから、秋にまとめて支給せよ。と。

お金をばらまくだけだったら誰だって出来ます。財源はどこにあるのでしょうか。